

IEC 62232 の状況について

- **移動無線基地局の状況**
- **IEC 62232 と告示300号の比較**
- **日・欧州・米の現状**
- **今後の動向**

2011年6月2日

移動無線基地局の状況

■ 背景

- アンテナタワーを持つ基地局からFemtoまでラインナップが拡大
- 新しいRAN技術の展開
- 地下鉄車内における利用促進



製品適合性、環境アセスメントを実施するために
多様な評価技術の確立が必要



IEC 62232と告示300号の比較

■ ばく露評価項目の比較

- IEC 62232は、告示300号を包含（周波数範囲、対象を除く）
- しかし、告示300号は、SAR評価の記述が無く、多様性への対応が困難

項目	IEC 62232	告示300号
周波数範囲、対象	300MHz - 6GHz 無線通信基地局	10kHz - 300GHz 固定の無線設備 (通信、放送、その他業務)
電磁界強度測定	周波数選択測定 広帯域測定	周波数選択測定 広帯域測定
電磁界強度計算	円筒・球計算式 Ray tracing MoM FDTD	円筒・球計算式
SAR測定	局所SAR 全身平均SAR	無し
SAR計算	簡易計算式 FDTD	無し
空間平均	6点法、9点法、高さ2m法	高さ2m法
時間平均	必要により実施	必要により実施
外挿	必要により実施	無し
不確かさと適合判定	ISO/IEC Guide 98-3 2008	記述無し
報告様式	ISO/IEC 17025 2005	記述無し

日・欧州・米の現状

■ 測定量 (Measurand) 等の比較

地域	標準規格、法律等	測定量	その他
日本	電波法施工規則第21条の3 告示300号	EMF	
欧州	EN50385 EN50401	EMF SAR	一部の国は、 例外あり
米	FCC OET65	EMF SAR ただし、SARの実績は、なく KDB (knowledge data base) に技術を蓄積中	

EMF (Electro Magnetic Field) : 電界強度、磁界強度、電力密度
SAR (Specific Absorption Rate) : 比吸収率

国際標準化動向

- IEC 62232 FDISは、106/228/RVD (2011年5月6日) にて可決され、ISとして発行済み
- PT 62232は、New workとして、周波数範囲の拡張(主にCENELECとの整合)を計画中
- ITU-Tは、既に、Kシリーズとして電波防護に関わる勧告を発行し、今後も新しい状況に対応するための作業を継続中